

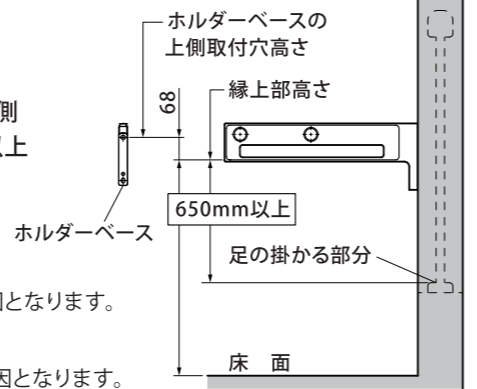
施工説明書

施工者様へのお願い

この物干しを正しくご使用いただくために、次の施工手順をよくお読みになり、正しく施工してください。

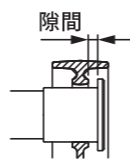
警告 この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品は物干しです。他の用途でご使用にならないでください。
- ベランダやバルコニーの手すりの外側には絶対に取り付けしないでください。
- ベランダやバルコニーの手すりの内側に取り付ける場合は右図のようにホルダー下側の縁上部が床面(途中に足が掛けられる場所があるときはその高さ)から650mm以上の高さになるように取り付けてください(参考:旧公営住宅建設基準)。設置位置が低いと幼児がよじ登り、転落する危険があります。
- 非常口・避難ハッチ・換気口等の妨げにならない場所に取り付けてください。
- 十分な強度がある場所に取り付けてください。強度が不足すると壁の破損や故障の原因となります。
- 取り付ける躯体に合わせて取付けパーツ(ボルトやアンカー等)をお選びいただき、確実に締めてください。躯体に合わない取付けパーツを使用すると壁の破損や故障の原因となります。

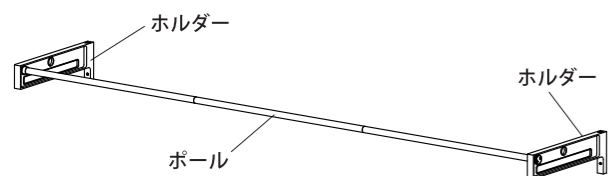


注意 この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

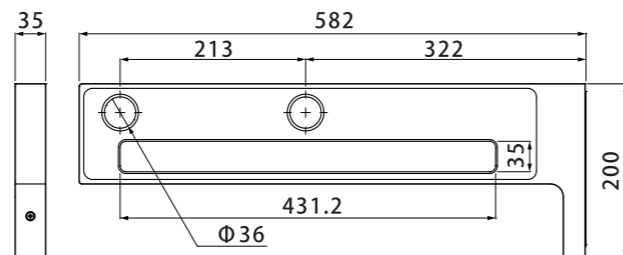
- 取付時外壁材等に開けた下穴は防水シール材による処理を行ってください。防水処理を行わないと、外壁や柱に浸水し腐食する恐れがあります。
- ポールの長さは、物をかけたときのたわみを考慮してホルダーとキャップの間に隙間ができる長さになっています。必ず本説明書に記載の手順でポールをカットしてください。十分な隙間がないとポールがたわみ、ホルダーが引っ張られて破損する恐れがあります。



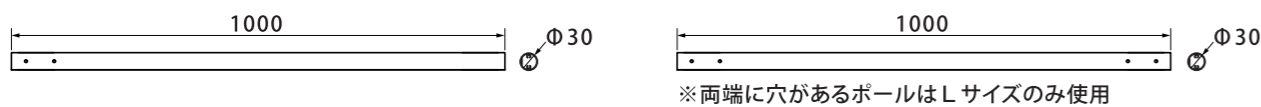
各部名称 ※図はLサイズ1本タイプ



ホルダー寸法



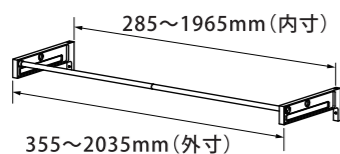
ポール寸法 (組立て前)



製品仕様 ※ポールの色はすべてブラックです。

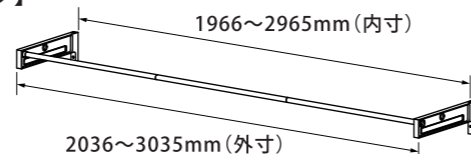
【Sサイズ1本タイプ】

TGS52004BK
TGS52005SL



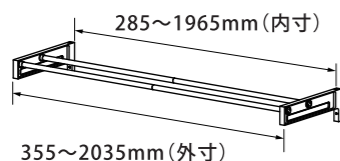
【Lサイズ1本タイプ】

TGS52008BK
TGS52009SL



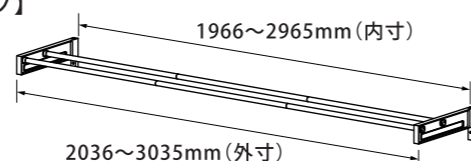
【Sサイズ2本タイプ】

TGS52006BK
TGS52007SL



【Lサイズ2本タイプ】

TGS52010BK
TGS52011SL



部品明細 ※下図に描かれた部品が揃っているか、ご確認ください。ホルダーベースを取り付けるねじは付属されていません。取り付ける躯体に合わせてご準備ください(別売りで下記取付けパーツも販売しています)。

梱包名	TGSホルダーセット	TGSポールS	TGSポールL
梱包内容	①ホルダーベース ...2個	①ポール(片側のみ穴あり) ...2本	①ポール ④片側のみ穴あり ...2本 ⑤両側に穴あり ...1本
	②ホルダー本体 ...2個	②連結パイプ ...1本	②連結パイプ ...2本
	③皿ねじ(M4×20) ...2本	③キャップ ...2個	③キャップ ...2個
	※組み立てられた状態で梱包されています。	④キャップカバー ...2個	④キャップカバー ...2個
		⑤低頭ねじ M4×16 (色:黒) ...4本	⑤低頭ねじ M4×16 (色:黒) ...8本
		⑥皿タッピンねじ 呼び4×16 (色:シルバー) ...4本	⑥皿タッピンねじ 呼び4×16 (色:シルバー) ...4本
※⑤と⑥のねじは③のキャップ内に貼り付けてあります。			
梱包数量	Sサイズ1本タイプ	1	1
	Sサイズ2本タイプ	1	2
	Lサイズ1本タイプ	1	-
	Lサイズ2本タイプ	1	-

別売り取付けパーツ (1セット分)

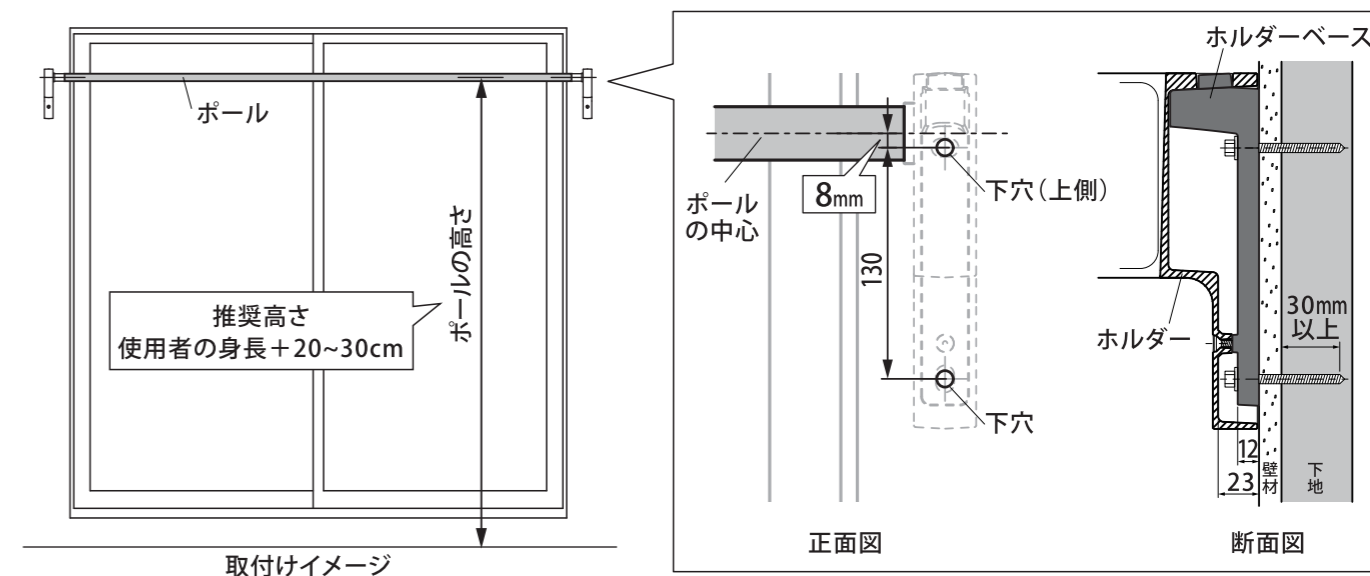
DRY-06-2 木造の場合	・十字穴付コーチスクリュー Φ6×75(4本) ・平座金 Φ6.5×Φ18(4ヶ)	DRY-06-6 □50支柱の場合 貫通固定	・六角ボルト M8×80(4本) ・六角ナット M8用(4ヶ)	・平座金 M8用(8ヶ) ・バネ座金 M8用(4ヶ)
DRY-06-5 RCの場合	・カットアンカー M8用(4ヶ) ・六角ボルト M8×25(4本) ・平座金 M8用(4ヶ)	DRY-06-7 □70支柱の場合 貫通固定	・六角ボルト M8×100(4本) ・六角ナット M8用(4ヶ)	・平座金 M8用(8ヶ) ・バネ座金 M8用(4ヶ)

用意するもの

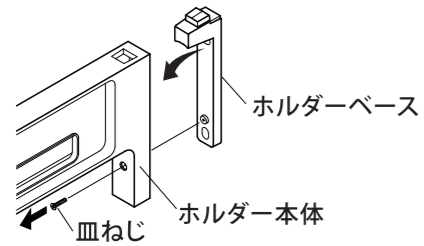
メジャー、下穴用ドリル、ねじ締め工具、スライド丸ノコ(アルミ切断用)、シーリング剤、取付けパーツ、マスキングテープ

取付手順

- 1 ポールの高さを決め、取付面に下穴を左右2カ所ずつあけてください。(ポールの中心から8mm下の位置が、ホルダーベースの下穴(上側)の位置になります)

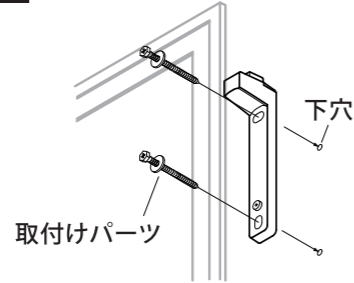


2 ホルダー本体の皿ねじを外し、ホルダーベースからホルダー本体を外します。



※外したねじは、取付けに使うので無くさないでください。

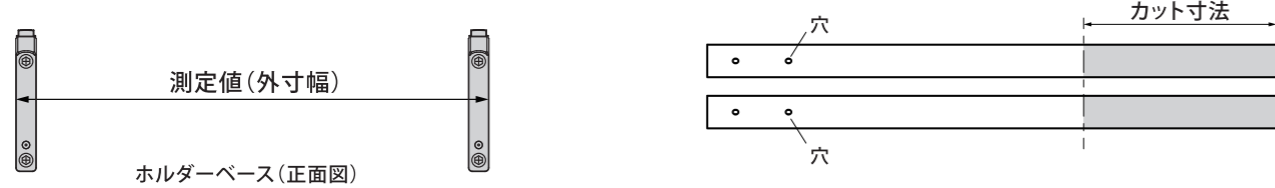
3 ホルダーベースを取り付けます。



注意
 ※下穴には防水処理をしてください。
 ※取付けパーツは躯体にあったものを使用してください。
 ※ホルダーベースは垂直に取り付け、左の高さを合わせてください。

4 取付け幅に合わせて、ポール(片側のみに穴あり)をカットします。

- ① ホルダーベースの端から端までの距離を測定し、ポールをカットする寸法を下記の式に当てはめて算出します。
 ② ①で計算した寸法を穴が無い側からカットします。



■ポール1本あたりのカット寸法(単位:mm)

【Sサイズ】 カット寸法 = (2026 - 測定値) ÷ 2

【Lサイズ】 カット寸法 = (3026 - 測定値) ÷ 2

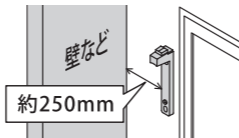
例) Sサイズで測定値1820の場合
 カット寸法 = (2026 - 1820) ÷ 2 = 103

注意
 ポールの長さは、物をかけたときのたわみを考慮してホルダーとキャップの間に隙間ができる長さになっています。必ず記載の手順でポールをカットしてください。

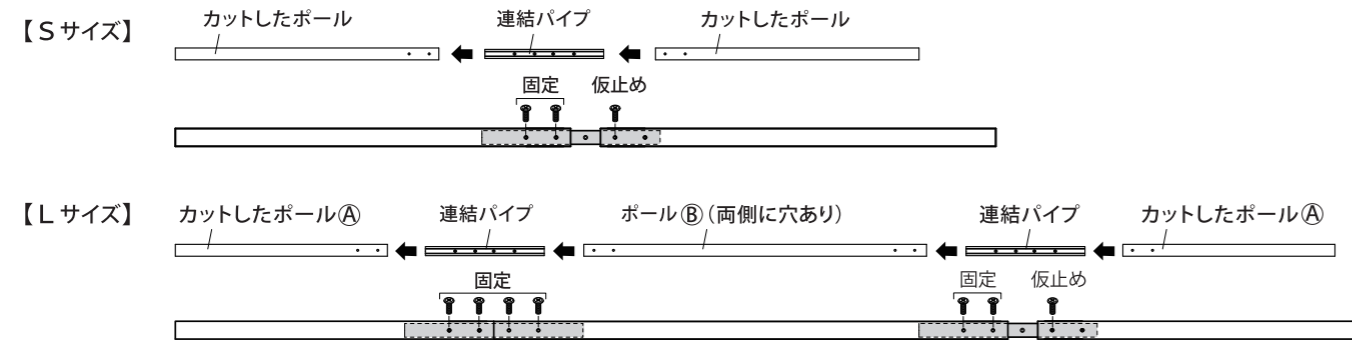
※ポールが2本タイプの場合は、もう1セットのポールも同じ長さをカットしてください。

■取付作業時のスペースの確認

本製品は、ホルダーの穴にポールを通してからねじでキャップを止めるため、製品の左右にドライバーが入るスペースが約250mm必要になります。作業スペースがある場合は次の5へ、無い場合は右ページの5に進んでください。この場合、取付作業は必ず2人以上で行ってください。

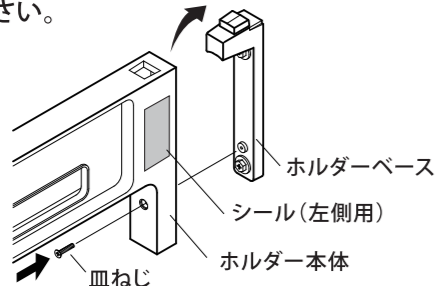


5 ポールを組み立てます。カットしたポールに連結パイプを差し込み、低頭ねじで固定します。初めは、連結パイプの穴位置を1カ所ずらして組み立て、ホルダーにポールが十分にかかる長さにします。

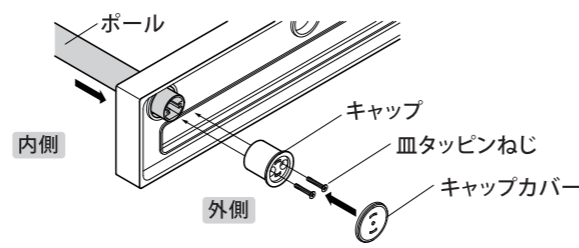


注意
 ポールを固定するときは隙間が無いように組み立ててください。

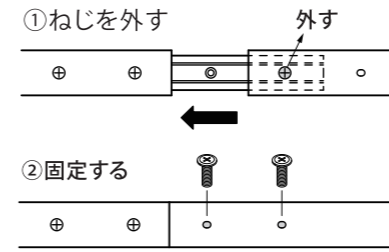
6 ホルダー本体をホルダーベースに取り付け、皿ねじで固定します。シールが貼ってあるホルダーを左側に取り付けてください。



7 5で組んだポールを左右のホルダーの穴に内側から通し、ポールの両端にキャップを取り付け、皿タッピンねじで固定し、キャップカバーを付けます。

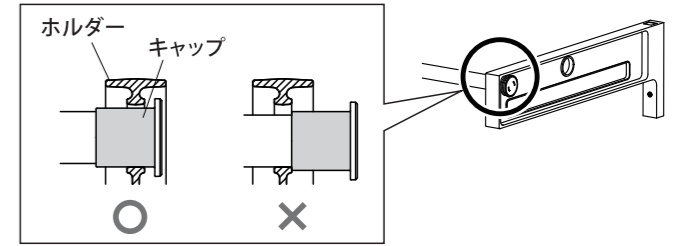


8 5で仮止めをした低頭ねじを外して、ポールを突き合わせ、再び低頭ねじで残りの2カ所を固定します。



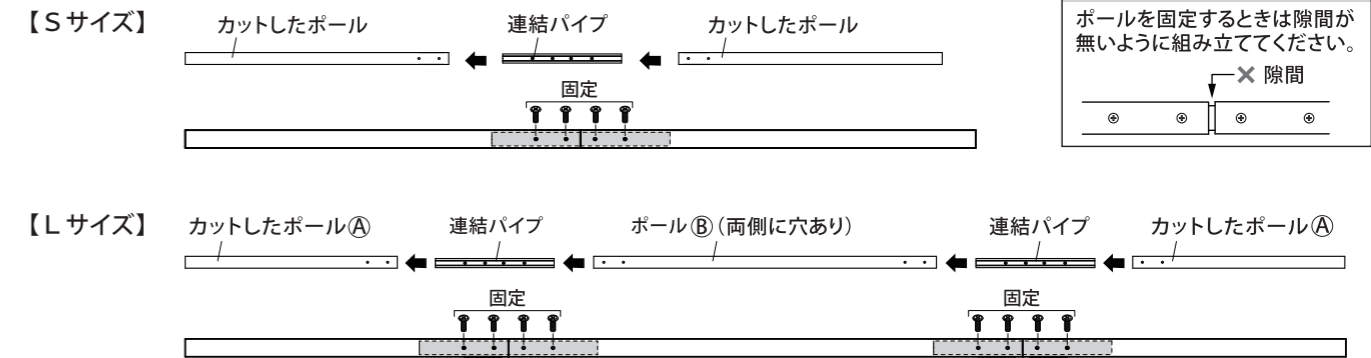
※2本タイプの場合は5~8を繰り返して、もう1セットのポールを取り付けてください。

9 ポールのキャップがホルダーの穴の上に乗るように調整してください。



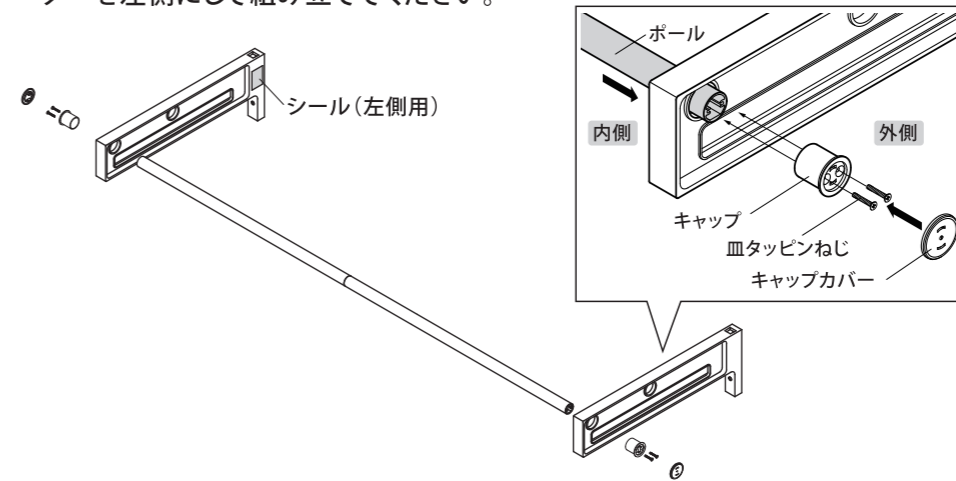
10 製品がしっかり取り付けられていることを確認してください。

5 カットしたポールに連結パイプを差し込み、低頭ねじで固定します。

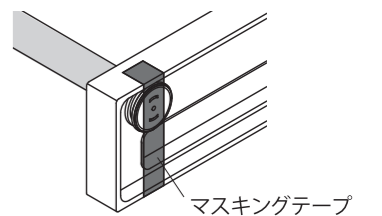


注意
 ポールを固定するときは隙間が無いように組み立ててください。

6 5で組んだポールをホルダーの穴に通し、ポールの両端にキャップを取り付け、皿タッピンねじで固定し、キャップカバーを付けます。シールが貼ってあるホルダーを左側にして組み立ててください。

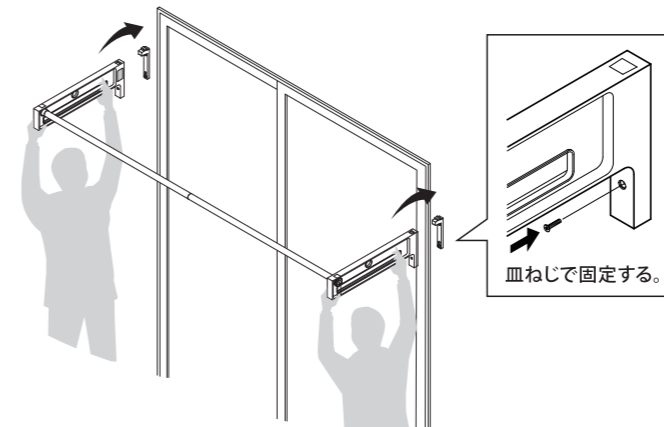


7 ポールが動かないように、マスキングテープ等で固定してください。

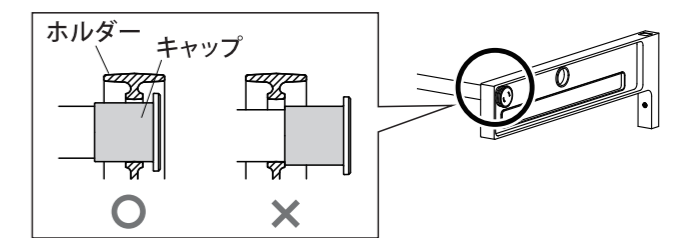


※2本タイプの場合は5~7を繰り返して、もう1本のポールを取り付けてください。

8 7をホルダーベースに取り付け、皿ねじで固定します。作業は必ず2人以上で行ってください。



9 マスキングテープをはがし、ポールのキャップがホルダーの穴の上に乗っているか確認してください。



10 製品がしっかり取り付けられていることを確認してください。